メディア接触と外国人イメージ

○佐久間 勲

(文教大学情報学部)

キーワード：メディア接触、外国人イメージ、ステレオタイプ

Media usage and images of foreign people

Isao SAKUMA

(Bunkyo University)

Key Words: media usage, images of foreign people, stereotype

目 的

培養理論や社会的学習理論によれば、メディアの中で特定の社会的集団がステレオタイプ的に描写されるほど、受け手はそれらの集団に対してステレオタイプ的なイメージを持つという(e.g., Morgan, 1982)。こうした議論に基づき、本研究では複数のメディアの利用が、外国人に対するイメージを強化するか、具体的にはよりステレオタイプ的なイメージを形成するか検討する。なお本研究では「知的能力は高いが冷たい」「あたたかいけれども知的能力が低い」「身体能力は高いが知的能力は低い」という両面価値的なステレオタイプ(Fiske et al., 2002;村田, 2006)を取り上げる。

方 法

調査対象者と手続き 文教大学で社会学および社会心理学関連の講義を受講している大学生 188 名(男性 86 名、女性 101 名、不明 1 名)を対象に調査を実施した。調査は授業時間の一部を使用して実施した。所要時間は約 10 分であった。

主要な調査項目 (1)メディア接触：8 つのメディア(テレビ、ラジオ、雑誌、新聞一般紙、スポーツ新聞、マンガ、PC によるネット、携帯によるネット)の利用状況について回答してもらった(「よく利用する」～「まったく利用しない」の 5 件法)。(2)国民イメージ：複数の国民に対するイメージを 8 つの形容詞対で回答してもらった(7 件法)。形容詞対には、あたたかさ、知的能力、身体能力の次元に対応するものが含まれていた。

結 果

メディアのうち、新聞一般紙とスポーツ新聞、PC によるネットと携帯によるネットについては、それらの平均値を算出して新聞、ネットの利用とした。国民イメージを測定する形容詞対に関しては、それぞれの国民ごとに 3 つの次元(あたたかさ、知的能力、身体能力)に対応した得点を算出した。本研究では中国人、韓国人、ロシア人、ブラジル人、ジャマイカ人、ケニア人、エチオピア人のイメージを分析対象とした。このうち中国人、韓国人、ロシア人は「知的能力は高いが冷たい」、ブラジル人、ジャマイカ人、ケニア人、エチオピア人は「あたたかいけれども知的能力が低い」「身体能力は高いが知的能力は低い」という両面価値的なステレオタイプを持たれていることを想定して分析を進めた。

メディア接触が国民イメージに及ぼす影響を検討するために、メディア接触を説明変数、それぞれの国民のイメージ得点を目的変数とした重回帰分析を実施した(説明変数は一括投入)。このとき、性別と年齢も独立変数に含めた。国民イメージの得点に有意に影響していたメディアの標準偏回帰係数を表に示した。以下、メディアごとに結果を記述する。**テレビ** テレビへの接触は韓国人のあたたかさ、ジャマイカ人の身体能力を高めていた。ジャマイカ人の身体能力に関する結果は、両面価値的なステレオタイプを強化する方向への影響であった。

ラジオ 有意な影響は見られなかった。

新聞 新聞への接触はエチオピア人の知的能力を低め、ブラ

ジル人のあたたかさを高めていた。これらの結果はいずれも、両面価値的なステレオタイプを強化する方向への影響であった。

雑誌 雑誌への接触は、中国人の身体能力を低める一方で、韓国人、エチオピア人のあたたかさを高めていた。エチオピア人のあたたかさに関する結果は、両面価値的なステレオタイプを強化する方向への影響であった。

マンガ マンガへの接触は、韓国人のあたたかさ、知的能力を低めていた。一方、ロシア人の身体能力を高め、エチオピア人の身体能力を低めていた。

ネット ネットへの接触はブラジル人の知的能力を低めていた。この結果は、両面価値的なステレオタイプを強化する方向への影響であった。

考 察

それぞれのメディアは、いくつかの外国人イメージに影響していた。そして、その影響は両面価値的なステレオタイプを強化する方向だけではなく、弱める方向への影響も見られた。これらの結果から、メディアは必ずしもステレオタイプを強化するわけではなく、条件次第ではステレオタイプを低減する可能性も示唆される。ただし本研究はメディアの利用状況だけを尋ねていて、どのような内容に接触しているかについては尋ねていない。接触している内容を含めて検討をすることで、その影響がより詳細になるだろう。

引用文献

Fiske et al.(2002).JPSP, 82, 878-902/ Morgan (1982).JPSP,43, 947-955. / 村田(2006).日心 70 回大会,75.

註

本研究は 2011 年度湘南総合研究所(文教大学)の共同研究の助成を受けて実施された。

表 標準偏回帰係数

国民	得点	TV	ラジオ	新聞	雑誌	マンガ	ネット
中国人	身体				-.22+		
韓国人	あたた	.24*			.25*	-.19+	
	知的					-.24*	
ロシア人	身体					.21+	
	あたた				.29*		
エチオピア人	知的			-.23+			
	身体					-.25*	
ブラジル人	あたた			.21+			
	知的						-.20+
ジャマイカ人	身体	.31*					

注 1)** p<.01, * p<.05, + p<.10

注 2)それぞれの国民の分析対象者数は 80～94。